

令和4年4月11日

保護者の皆様

土 浦 市 学 校 長 会 会 長 奥谷 克二
土浦市立土浦第六中学校（小中一貫校）校長 大森 弘

土浦市立学校における評価2期制(通知票2回配付)の実施について

陽春の候 保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より学校教育活動に対し、温かい御理解と御協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、学校における児童生徒の評価と通知票のあり方について、よりよい方法はどうあるべきか、先行実施の学校の成果なども考え合わせ、市学校長会にて検討を重ねてきました。その結果、下記のとおり改善することと致しました。

つきましては、令和4年度より下記により進めて参りますので、趣旨・内容を御理解いただき、御了知くださいますようお願いいたします。

記

1 令和4年度より改善・実施する内容

- (1) 市内全ての小・中・義務教育学校において、通知票の2期制(年間2回の通知票による家庭連絡)を実施します。
 - (2) 概ね前期を4月～10月第1週、後期を10月第2週～3月とし、2回に分けて評価します。
- (※ 通知票形式については、令和4年度より市全体に校務支援システムが導入されることから、統一した形式になる予定です。)

2 理由

- 長いスパンで指導、評価することにより、より妥当性の高い評価を行うことができます。
- 夏休み前などに成績処理等の事務や夏休みに向けた準備に時間がかかっていたところですが、教師、児童生徒ともに時間的、精神的ゆとりが生まれ、じっくりと授業に取り組むことができます。
- 評価の区切りを10月第1週とすることで、夏休み前までの学習指導の評価を9～10月の学習指導に生かし、指導の充実を図ることができます。